

SAP Ariba M

機能の概要 多要素認証による Ariba Network へのユーザーログイン

Rajesh Shastry、SAP Ariba 一般提供予定: 2021 年 2 月

CONFIDENTIAL







説明: 多要素認証による Ariba Network へのユーザーログイン

今までの課題

現在、Ariba Network では多要素認証によるログイン に対応していないため、基本的なログインが脆弱な状態にあります。

SAP Ariba で問題解決

多要素認証 (MFA) による基本的なログインに対応します。

- Ariba Network へのアクセスが保護されます。
- 漏洩したユーザーアカウント認証情報を使用して SAP Ariba アプリケーションにアクセスする悪質なエンティ ティのリスクを軽減します。

対象ソリューション

Ariba Network

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているす べてのお客様に対して自動的に有効になりますが、お 客様が設定する必要があります。

前提条件と制限事項

主なメリット

多要素認証が組織で有効になっている場合、有効なユー ザーは App Store または Google Play ストアから SAP Authenticator アプリをインストールして、時間ベースのワ ンタイムパスワード (TOTP) を生成する必要があります。

説明: 多要素認証による Ariba Network へのユーザーログイン

機能の詳細情報 - 簡単な説明

MFA を有効にした場合:

- 顧客管理者は MFA 設定を管理し、ユーザーに対して MFA を有効化することができます。
- ユーザーは App Store および Google Play ストアから SAP Authenticator アプリをインストールして MFA を設定します。
- 次回、ユーザーがユーザー名/パスワードを使用してログインすると、アプリケーションにアクセスするための MFA トークンの入力を要求されます。

説明: 多要素認証による Ariba Network へのユーザーログイン

機能の詳細情報 - ユーザーログイン: プロセスフロー

- ・ 対象: ユーザー (アプリケーションユーザー)
- ・ ログインフロー:
 - 1. ユーザー ID とパスワードを入力します。
 - 2. App Store および Google Play ストアから SAP Authenticator アプリをイン ストールします。
 - 3. QR コードをスキャンし、パスコードを取得します。
 - 4. 有効時間内に、MFA ログイン画面にパスコードを入力します。
 - 5. 生成されたパスコードが有効時間内に入力されると、ログインが成功します。
 - 6. ログインに失敗した場合、再度ログインを試行します (通常設定)。
 - 1回目のログイン試行で5回失敗すると、120分間ロックされます。
 - ・2回目のログイン試行で5回失敗すると、2×120分間ロックされます。
 - ・3回目のログイン試行で5回失敗すると、ロックされます。
 - ・ 管理者にリクエストを送信して、ロックの解除またはリセットを依頼します。





説明: 多要素認証による Ariba Network へのユーザーログイン

機能の詳細情報 - ログインの MFA の有効化および MFA 設定の構成 管理者は [ユーザー] → [ユーザー認証の管理]の順に移動します。

管理者は、チェックボックスを選択してログインの MFA を有効化し、テナントで必要な MFA 設定を 構成することができます。

- 多要素認証設定をスキップできる日数 (初期 値:5日)
- 多要素認証に対して許容される無効な試行回数(初期値:5回)
- ロックされたユーザーの再試行までの期間 (初 期値: 120 分)
- [認証情報を記憶する] オプションの有効化 (初 期値: いいえ)
- 端末を記憶する期間 (初期値:5日) [認証情報を記憶する] オプションが [はい] に設定されている場合にのみ適用できます。



説明: 多要素認証による Ariba Network へのユーザーログイン

機能の詳細情報 - ユーザーレベルでの MFA

管理者は [ユーザー] → [ユーザー認証の管理] の順に移動します。

管理者は、ユーザーに対して以下の操作を実行することができます。

- MFA 状況および設定状況で特定のユーザーを 検索します。
- ユーザーに対して MFA を有効化します。
- 有効化されているユーザーに対して MFA を無効 化します。
- 有効化されているユーザーに対して MFA をリ セットします。
- 無効なパスコードトークンエントリの入力により ロックされている場合に、ユーザーのロックを解除 します。
- MFA を設定していない有効なユーザーに電子
 メールリマインダを送信します。

Manage Roles Manage Users Manage User Authentication												
Multi-factor Authentication User Setup (1)												
Require multi-factor authentication for critical fields (applies for all users of your organization)												
Require multi-factor authentication for login												
စ် Configure MFA Settings												
Filters Users (You can only search on one attribute at a time) Username Enter username Apply Reset 	Select MFA Status 🗸											
								=				
Account Status Username Email Address First Name Last Name	Role Assigned	Enabled For Login/Update	Due Date	Setup Completed	Setup Completed Date	Last Email Reminder	Reminders	Deferrals				
testuser@sup.com test@ariba.com test s	test role	No	13 Mar 2021	No			0	0				
Enable Disable Reset Send Email Reminder Unlock												

機能の概要 説明: 多要素認証による Ariba Network へのユーザーログイン

機能の詳細情報 - ユーザー: MFA 設定

Enable Multi-factor Authentication	Done	Skip		
Your organization's Ariba Network administrator requires you to set up multi-factor authentication to login to the application and/or to change passwords or change some configuration related settings. You ca either now or at a later time.	n set up multi-facto	r authentication		
Perform the following steps to set up multi-factor authentication:				
 On your smart phone, download and install an authenticator application. SAP Ariba confirms that SAP Authenticator is a supported option. You can download it from : Tunes or Google Play Open the authenticator application and scan the bar code below, or manually enter the secure key displayed below. The authenticator application displays a time-based verification code. 				
Secure Key: RWPDZM6WXZ7FYAUF				
				ユーザーが MFA 設定を完了している場合、 ログイン後に MFA 認証ページが表示され ます。
• On this page, in the Time-based Verification Code input field, enter the verification code that is generated and displayed by the authenticator application on your smart phone.				
Your administrator has set up multi-factor authentication. Type the 6 digit verification code generated by the authenticator application on your device and click on the Submit button.				
Time-based Verification Code:*			\sim .	7
	Done	Skip		
Multi-factor authentication OTP validation				Done
You need to enter a valid Time-based OTP to login to the application and complete the two-step authenticat	on proces	S		
Your administrator has set up multi-factor authentication. Type the 6 digit verification code generated by the	authentica	tor applic	cation on your device and click on the Submit button.	
Time-based Verification Code:*				

Done

説明: 多要素認証による Ariba Network へのユーザーログイン

機能の詳細情報 - ユーザー: MFA リセット

- ・ 対象: ユーザー (アプリケーションユーザー)
- MFA リセットフロー:
 - ユーザーがロックされた場合:
 - a. 管理者に**連絡し、ロック**を解除するか、MFA をリセットします。
 - b. **ロックが解除された場合**、認証情報とパスコードを入力します。
 - c. リセットされた場合、新しい QR コードを使用して MFA を設定します。
 - ユーザーがモバイル端末を変更した場合:
 - a. [ユーザー設定] → [多要素認証]
 - b. 以前の端末のパスコードを入力します。
 - c. 新しい端末で新しい QR コードを使用して設定します。

MFA Reset Flow

Admin Action Process Flow



説明: 多要素認証による Ariba Network へのユーザーログイン

機能の詳細情報 - ユーザー: 電子メール通知

以下のタイミングでテナント内のユーザーに電子メールが送信されます。

- 管理者がユーザーに対して MFA を有効化したとき
- ・ 管理者がユーザーに対して MFA を無効化したとき
- ・ 管理者がユーザーに対して MFA をリセットしたとき
- ・ 管理者がユーザーのロックを解除したとき
- ・ 管理者が MFA の設定に関するリマインダをユーザーに送信したとき
- ・無効なログイン試行によりユーザーがロックされたとき



管理者:電子メールリマインダ通知



説明: 多要素認証による Ariba Network へのユーザーログイン

機能の詳細情報 - 管理者: プロセスフロー

- 対象: 管理者 (顧客管理者)
- MFA 管理フロー:
 - MFA の有効化
 - MFA の無効化

